

令和 5 年度 南区自治協議会提案事業

「南区まちづくり活動サポート事業」実施報告書

令和 6 年 2 月 27 日

団体名 庄瀬地域コミュニティ協議会

代表者氏名 田中 美智郎

- 1 提案事業名 温故知新～愛するまち庄瀬
- 2 事業内容 賑わいがあつた頃の庄瀬の商店街の様子を掘り起こし、
後世に伝承するため地図やエピソード集を作成する
7月～ 小学校の夏季休業課題として祖父母への取材依頼
9月～ 地域住民へ情報提供依頼
9月18日 敬老会にて情報提供依頼
10月21日 地区文化祭にて展示、情報共有
12月～ 冊子編集作業
2月5日 小学校にて総合授業
2月26日 冊子配布

3 評価と課題（目的と成果、今後の取り組み等について記入してください。）

当事業は地域の商業が賑わいを見せ活気に満ち溢れていた頃の庄瀬を想像すらできない若い世代に語り継ぐための資料を残すということ、昔の思い出話をする事で多世代の機会を作ること、また未来の庄瀬の担い手に昔に負けないような地域のビジョンを描くきっかけを作るという目的で実施した。

当時の正式な資料が残っていないことから、あくまでも住民の記憶の中にあるエピソードを集めたため、内容については正確なものではないが、子どもから高齢者まで広く情報を求め、話題にしてもらうことで地域の歴史の伝承と多世代交流の良い機会となった。エピソードからは当時の地域民の逞しさや助け合いの姿が垣間見え、今後の地域活性や支え合いの仕組み構築のためのヒントとなった。地区文化祭ではそれまで収集した情報をもとに作成した地図等を掲示し、来場者に更なる情報を付箋で貼ってもらった。その他、敬老会・地域の茶の間・しなの園・同級会でも話題となり様々な場所で盛り上がりを見せた。昔の思い出を満面の笑みで語る高齢者の姿は大変印象的であった。小学校では地域の高齢者から実際に話を聞く機会を設けてもらい、子ども達が今では想像できないようなまちの様子に驚きとともに「羨ましい」という声があり、自分たちも賑やかなまちを創りたいという刺激にもなったのではないと思われる。

地域住民からは貴重な写真の提供も多くあり、まさに地域全体で創り上げた冊子となった。

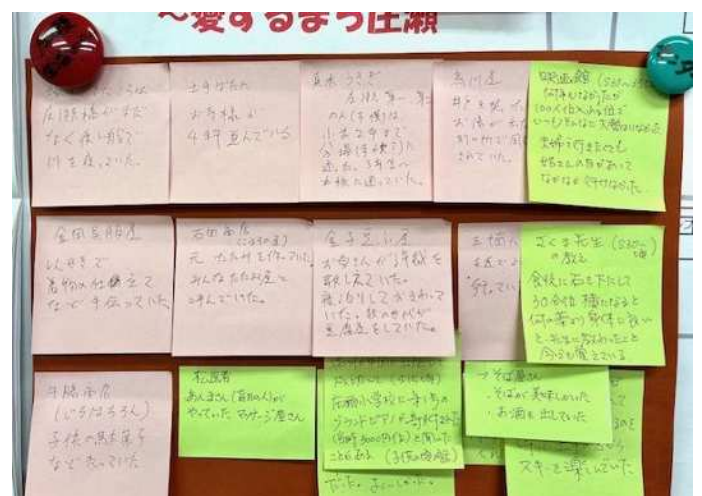
今回は商業をテーマとしたが、取材では祭りや運動会といった地域行事の話も多数寄せられ、テーマを変えて再度実施することも検討したい。

4 実施状況写真

- ・地域の茶の間にて取材の様子 (10/19 ままや)



- ・地区文化祭での展示 (10/21 庄瀬小学校)



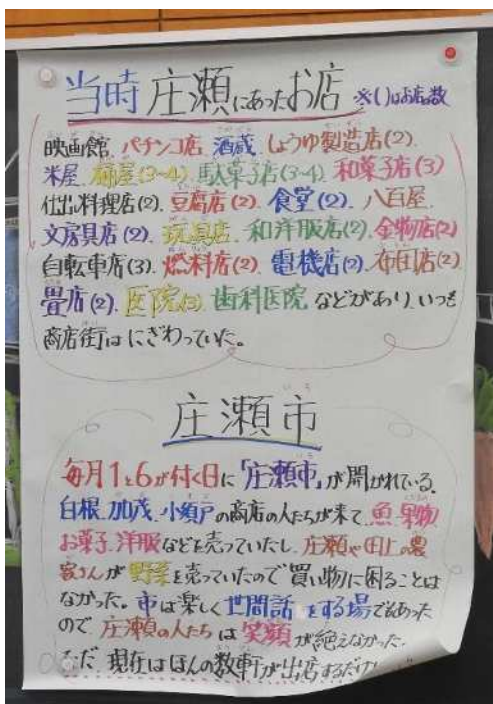
・生活センターでの掲示



・会議でも話題に (11/21 庄瀬を語る会)



・庄瀬小学校総合授業 (2/5 3年生)



収支決算書

収入内訳

(単位:円)

収入項目	予算額	決算額	内 訳
南区まちづくり活動サポート事業委託料	234,000	234,000	新潟市からの委託料
自己負担		170	コミ協より
収入合計	234,000	234,170	

支出内訳

(単位:円)

支出項目	予算額	決算額	内 訳	委託料 充 当
印刷製本費	224,000	198,000	アサヒ印刷 冊子印刷代	○
印刷製本費		13,000	取材依頼、取材用紙コピー	○
印刷製本費		8,600	文化祭展示、編集会議資料コピー	○
報償費		5,000	小学校総合授業ボランティア	○
消耗品費	5,000	8,800	刊広社 地図	○
食糧費	5,000	0		
雑費		770	振込手数料	○
支出合計	234,000	234,170		

※1 支出内訳で、南区まちづくり活動サポート事業委託料を充当した項目は、「委託料充当」欄に○を記入してください。

※2 領収書の写しを必ず添付してください。